

題: メディアの多様性

名前:

私は、インターネットが普及して現代において、新聞や雑誌の必要があると考えます。なぜならば、メディアのそれぞれ独自の性質を持つ、つまり、その多様性はとても重要で、用途によって使用可能なメディアが変化するからです。例えば、インターネットの特徴は、世界中のニュースとリアルタイムで知ることができ、また、自らが必要とするニュースや情報についてのみを調べにすることができる。一方、新聞や雑誌は、発行される時間によって決まるとおり、事件などの出来事や生じることから一定のタイムラグを経た後に、情報と手にいれることができる。また、新聞、雑誌に掲載された情報しか手にいれることができない。このように述べるとインターネットの方が便利のようだが、イメージができてしまっただけで、実際は、そうではないだろう。新聞や雑誌にも様々なメリットが存在する。まず、重大な出来事などについての記事の写真や図などに加え、とてもくわしく書いてあるのと

十分な情報をわかりやすく知ることができる。また、持ち運ぶことで、電車の中などどこでも読むことができるというメリットもある。また、保存性にたけているといふ大きな要素もあり、図書館にいけばわかるように、何十年も昔の新聞や雑誌から当時の情報を手に入ることができ、それを対比して、インターネットのデメリットとして、まず、パソコン自体が高価であり、皆が手にいれることができないという点。また、電源がなくなると、電池が切れたり、ウイルスにパソコンがやられたりすること、パソコンから情報を得られなかったり、また、得たニュースの情報を失ってしまったことなどを考えられる。これらの理由から、人間は自らを使いやすく、また好みにあったメディアから情報を得るべきだと考える。よって、今日において、またこれから新聞や雑誌は我々にとり、必要不可欠な存在であるだろう。

1800字